



ときがね な ひととき

鴉嶺の家（高齢者・障害者）

皆さんこんにちは！11月に入り本当に寒くなりましたね。鴉嶺の家ではストーブたちが、ご利用者の皆さまのほっこり♡したエピソードに負けないくらい大活躍中です。

今月号はそんな鴉嶺の家で行われた防災訓練とほっこりエピソードのお話です。

10月の日曜日に上宿消防団の皆さまのご協力のもと防災訓練を行いました。この日は休みのスタッフも集合し、スタッフの

お子さんも参加して下さいました。ご利用者の方にもご協力して頂き、無事に終える事が出来ました。いつ何が起きるか分からない今、訓練はとても大事なものだと思えて実感することが出来ました。緊急災害時に落ち着いて対応できるよう、避難経路や避難場所の確認など日頃から出来ることはしておきたいですね。

最近、鴉嶺の家では、利用日を変更された方がおられ、今まで顔を合わせることの少なかった方々のほっこりとした出来事があったので紹介します。

曜日が変更になったYさん。以前は滅多に会うことのなかったTさんの隣に座っていると、いつの間にかTさんの事をお母さん！と呼んでいます。Tさんも優しくYさんの話に聴えて下さっていました。その様子を見て、思わずフツツと笑ってしまいました。

結局Tさんは1日Yさんの事を見守ってくれていて、スタッ

フはほっこりです(#^^#)
そんなTさんとYさんは、いつも洗濯物たたみや、食器拭きなどたくさんお手伝いをして下さいます。本当に感謝感激です。Tさん、Yさんいつもありがとうございます。

こんな平和な日々が続くことを願って、今月号はこの辺で失礼いたします。



鴉嶺の家（児童）

朝夕冷え込む季節になりました。先日、鴉嶺の家（児童）では、2日に分けてハロウィンをしました。子ども達と飾り付けをしたり、お菓子を貰うために

カゴを作り、隣の鴉嶺の家（高齢）に貰いに行きました。貰いに行くのを楽しみにしている子や、何をするかわからずついてくる子もいましたが、お菓子を貰うと、みんな嬉しそうにしていました。みんなで貰ってきたお菓子をおやつの時間に頂きました。クリスマスやお正月も近いので、子ども達と楽しい事をしていきたいなと考えています。

また、最近の鴉嶺の家は、毎日午前中からとても賑やかで、公園やお部屋の中でも元気いっぱい遊んでいます。遊びのブームは、お部屋の中だと、リカちゃん人形！女の子が多いので一人が遊び始めると、男の子も一

緒になって遊んでいます。公園では何と言っても、砂遊び！みんなでお山を作ったりしながら遊んでいます。雨の日は公園に行けないので、児童館や科学館、買い物に行きますが、他にも過ごし方がないかとスタッフの中で考えています。

どんどん寒くなるので、体調管理に気を付けて子ども達と遊びたいです。皆さんも体調には気を付けて下さいね。



ぽけっと

11月に入り、急に寒くなってきましたが、皆さんお変わりありませんか？

ぽけっとではこのところ、体調を崩してお休みをするお子さんが、目立ってきました。うがい手洗いやマスクの装着、衣類での調整、水分補給など、一人ひとりにあった対処方法で元気に過ごせたらいいなあと思っています。

「風邪予防にはビタミンC!」
と言いながら食べ頃になった庭のみかんを採ってくるのが日課になっていくような子ども達。土日の昼食や、普段のおやつのお供になっています。しかし、みんなが採って来てくれるため、スタッフは黄色くなりそうです。なんとも贅沢な悩みですが…^(*)

また、10月の終わりにハロウィンパーティーをしました。ここ数年はぽけっとで、バイキ

ング式のおやつをそれぞれ選んで食べたりして、パーティー気分を楽しんでいたのですが、今年には世間の波に乗り、定着しつつある「仮装」にチャレンジし、鴉嶺の家や相談事業所のるるとやスピリッツまで行ってみようという事になりました。

当日は生憎の小雨。中止にしようかと相談するスタッフの横で、着替える気満々の子ども達。事業所を回り、お菓子をたくさん頂いてきました。衣装を着る子、それを見て楽しむ子、いつもと違うお菓子を選んで嬉しそうなお子、みんなそれぞれの形で参加していました。お忙しいところ御協力頂きました事業所の皆さま、ありがとうございます。また、来年もよろしく願います。



「見つけてあげるよ」。君だ
 けのやる気スイッチ〜。」みな
 さんもCMで一度は耳にしたこ
 とがあるでしょうか？某塾のC
 Mですが一度聞いたら耳に残る
 非常にユニークなCMです。私
 は自分のやる気スイッチはどこ
 にあるのだろうかと考えること
 があります。簡単にオン、オフ
 ができればいいのに、と思うこ
 ともあります。確かに人はやる
 気スイッチが入ると実に活き活
 きとエネルギー溢れる行動をと
 る事ができます。

30代の男性Yさんは、ダンス
 教室、ドラム教室、コーラス、
 など様々な活動に取り組まれて
 います。そのYさんが通うドラ
 ム教室では、わかりやすくYさ
 んのやる気スイッチが入る瞬間
 があります。Yさんのやる気ス
 イッチは、流れる曲にあり、表
 情とドラムのたたき方ですぐに
 スイッチが入ったかどうかわか

ります。Yさんにドラムを教え
 て下さっている先生はYさんの
 表情を見ながら「これじゃない
 な」「こつちかな」とYさんの
 やる気スイッチが入る曲を選曲
 し、ドラムの練習曲を選びます。
 やる気スイッチが入ると実にエ
 ネルギッシュに生き生きと、時
 折、目に涙を浮かべ感極まりな
 がらドラムをたたかれます。ま
 た、あまりたたかれないシンバル
 もたたいたり、見ている私たち
 もとても元気になれる瞬間で
 す。そんなYさんのやる気ス
 イッチが入る曲は中島みゆき、
 Kinki Kidsの曲です。
 昔から馴染のある曲でやる気ス
 イッチが入ります。

最近、iPadを購入された
 Yさん。色々な曲を聴いて、馴
 染の曲を増やし、Yさんのやる
 気スイッチの入る
 曲が増えるのを楽
 しみにしています。
 みなさんのやる気
 スイッチはどこに
 ありますか？



『街かど福祉相談室るると』
 というのが事業所名ですが、大
 概は最初の『街かど福祉相談室』
 を省いて、『るると』と名乗っ
 ています。

『るると』の名前の由来を尋
 ねられたり、『るると』が日本
 語であると伝えると、「えっ！
 そうだったんですか！」と驚か
 れることがよくあります。

漢字で書くと『縷々と』とな
 ります。辞書には、へ長く続け
 て絶えないさま。細く長く途切
 れることなく続くさま。また、
 途切れることなく思いなどを述
 べるさま。〽と記してあり、同
 義語には『綿々』という言葉が
 あります。先日こんなことがあ
 りました。それなりに長くお付
 き合いのある方と話の流れから
 『るると』の名前の由来の話に
 なり、改めて説明すると「そう
 という意味があったんですね…」
 と言われました。

私たちは自分の事業所の名称
 なので、疑問に思いませんが、
 考えてみれば、地名や花などの
 固有名詞からついたであろう事
 業所名が多い中、『るると』の
 ように、あまり聞きなれない言
 葉だと疑問に感じてしまうもの
 なのでしょうね。

なので、最近「街かど福祉
 相談室るるとです。」と告げた
 後に、『るると』の名前の由来
 もお伝えすることを心掛けてい
 ます。ある方は、「るるとって
 日本語だったんですね！」と感
 心されていました。外国語や日
 本語の造語だと思われるいたよ
 うです。

そして、何かの縁でるるとと
 繋がった方々とは、これからも
 細く・長く・途切れることなく
 続いていく関係が築けると良い
 なあと思っています。



ハンドワーク（生活介護）

秋が終わり、一気に寒さが身に沁みるようになった11月、皆様いかがお過ごしでしょうか？ハンドワーク生活介護では天気の良い日に健康とリフレッシュを兼ねて、身体を動かさそうと近くの公園や少し離れたレジャー施設などへ散歩に出掛けています。

最近では、九十九里浜沿いの公園へ、お弁当を持ってお出掛けしてきました。あれは何？これは何？などなど、日常ではあまりない会話をしながら散歩を楽しみました。

「浮き輪と水着を持って泳ぎに行った」「水族館にアザラシを見に行った」などなど楽しかった思い出を次から次へとお話ししてくれるHさんは、サーフィンもチャレンジしたことがあると、思わぬ一面を垣間見ることができた一日でした。また気持ち良く晴れた日にお出かけ

できればと思います。



ハンドワーク（就労継続支援B型）

ハンドワークでは10月16日にゆめぼっち・山武市福祉健康まつり、10月22日にはシナリーの里秋まつりにイベント販売に行ってきました。イベント日程

が近かった為、準備等少々大変でしたが、皆さんよく頑張っていました。当日も朝早くからご家族のご協力により、遅刻することなくイベント会場にて販売開始する事が出来ました。ご協力ありがとうございました。

シナリーの里では、「このソーイングボックス使っているわ」などと声を掛けて下さる方がいらっしやったり、「もう少し（カゴの）高さを上げた方が使い易いわ」などのアドバイスをして下さったりと、直接お客様からの声を聞くことが出来ました。今後、作業に役立つように参考にしていきたいと思います。

販売に行く前にKさんが、『私が販売に行かないと売れないわ』と元気いっぱい職員に話していました。商品が売れると、『あ、あれが売れた。嬉しい』や『これが売れない』などと一喜一憂しています。商品が間近で売れていくところを見て、エコクラフトを製作するモチベー

ションが上がっていく様子が見られました。11月も2ヶ所でイベント販売の予定があるので皆で頑張りたいと思います！

【11月のイベント販売予定】

11月19日

東金特別支援学校

「やまもも祭」

11月27日

東金市産業祭



すっかり秋も深まってきた11月。この時期になると、ありさはいつになく忙しくなります。10月を皮切りに12月初旬まで、週末には地域で開かれるイベントに出向いて自分たちの作った商品を販売します。活動内容の紹介や就労訓練、地域の皆様との交流も兼ねている大事な活動の一つです。

ワーナーホームさんで開かれたみんなのまつりには、今回全員で参加しました。テントの中では会計をKさん、値札の記録をAさんが担当し、商品を袋に入れる係とPOPをもって宣伝する係、試食を進める係を皆で交代でやりました。皆よく声を出して呼び込みをしてくれました。また、交代でとる休憩は、買い物や舞台の催しを見る楽しみです。

城西国際大学の手話コーラスグループがみんなの好きな曲を

手話で披露していました。それに合わせて一緒に手話を一生懸命やっていました。

次に参加したのは、袖ヶ浦特別支援学校のみどり祭。こちらには卒業生を中心に少数精鋭で販売に行きました。参加したKさん二人は懐かしい先生方に会えた事を、後日嬉しそうに話していました。

11月12日には毎年参加させてもらっている「日吉台小学校のふれあいの集い」と、今回初めて参加させてもらう「駅からハ



イキング」というイベントがあり、現在その準備を頑張っています。さらに、11月19日には東金特別支援学校のやまもも祭、11月27日には東金市の産業祭も控えています。急に寒くなってきて、ちらほらと風邪気味の人も出てきているので心配ですが、これを乗り切れば忘年会！と、気合で頑張りたいと思います。

ハンドワークからのお知らせ

ハンドワークではfacebook（フェイスブック）を始めました。普段の活動内容や、商品・イベント情報などを発信しています。まだ始めたばかりですが、これから内容の充実を図っていきたいと思います。興味のある方は、是非フェイスブックをご覧ください。

検索は ⇒ facebook ハンドワーク ARISA

五根の家（グループホーム）

今年も残すところ2ヶ月を切り、秋の深まりと共に朝晩の冷え込みが強まってきました。

先日、Aさんが夜間転倒され、約2週間入院されました。今までは自分で歩いて、身の回りの事も自分でできていましたが、入院をきっかけにリクライニング式の車椅子生活となり、自分で動くことが出来ないのと、車椅子に座っても角度を斜めにしないと姿勢が保てず、全てが全介助で「不自由になった」と話されています。食事も普通食からミキサー食に変更となり、隣の食事を見て羨ましそうにされています。

勢で天井にあつた視線が前に変わり、正面で顔を見合わせながら会話が出来るようになり、テレビなども普通に観られるようになりました。

食事については、歯医者さんに相談して、嚥下機能を専門に診てもらい、飲み込みに気を付けたながら普通の食事に戻しても大丈夫との事で、現在は普通のごはんとおかずも一口大で食べられるようになりました。ミキサー食の時はあまり食が進まらず、残している事が多く見られました。今は『おいしい！』と笑顔で食べられるようになりました。

退院直後は、大分ストレスを抱えている様子でしたが、少しずつ笑顔が増えてきてスタッフも嬉しく思います。座る姿勢や食事の違いでその方の生活が全く別のものになるのだと感じ、一つひとつの支援を、本人の立場になって考え、大切にしていきたいと思えました。

五根の家（小規模多機能ホーム）

秋も深まり、毎日に寒さが増してきました。

9月には、肺炎で入院される方がおられました。皆さん無事に退院出来てスタッフもホッとした所です。これからは、寒さが厳しくなるにつれてインフルエンザに気を付けなければならぬ時期になります。先日、原先生にご協力頂き、スタッフも含め予防接種を行ったところですが、今年も昨年同様に感染者ゼロを目指して万全を尽くしていきたいと思っています。

今回、肺炎の方の対応を通じて学んだことは、予防に努めるだけでなく、万が一、体調不良者が出た時には正しい知識を持って蔓延を防ぎ、きちんとしたタイミングで医療機関に繋ぐという事です。

さて、話しは変わりますが、五根の家のリビングでは相変わらず賑やかな雰囲気です。お

しゃべりに夢中な方や外を眺めながら天気に関心のある方、他のお年寄りやスタッフにお茶やコーヒーを注いで下さる方、食事を使うおしぼりの準備や洗濯畳みを手伝って下さる方など、それぞれの時間を過ごされています。お年寄りが他のお年寄りの髪の毛をされる場面もありました。

先日、あるご家族より、自宅で本人自身が出来ることが探して自ら家事を手伝うようになってたと話がありました。集団で過ごされる中で、周りの人から刺激を受けたり、お互いに影響し合っているのだなと感じました。

在宅支援においては、自宅や地域でいかに本人らしく暮らせるかが大切なので、時に集団の力をもらいながら、一人ひとりのお年寄りが生きがいを持って生活できるよう、お手伝いが出来たらと思っています。



サポートセンター「こころん」

『東金・ひと・くらしサポートセンター「こころん」です。こころんは平成28年5月からスタートしました。開所して半年が過ぎましたが、まだまだ皆さまには知られていないこともあり、今回こころんの紹介を兼ねて、事業所の説明をしたいと思えます。まず、法律の話になりますが、平成25年に生活困窮者自立支援法が施行されました。平成26年にモデル事業が始まり、翌27年度からは福祉事務所のあるすべての自治体でこの事業が実施されることになりました。こころんは、平成28年5月にこの事業を委託され、開所しました。

主な目的は生活保護になる前の段階で、相談を受け、対象者の問題を一緒に整理して本来希望する形に生活を立て直すお手伝いをする事です。そのために相談員だけでなく、就労支援員がおり、一緒に仕事を探して就労に結び付け、経済的な問題を解決することを目指します。対象者は「東金市に住んでいる方」です。高齢者や障がいのある方だけでなく、今まで担当とする窓口のなかった方（制度のはざまの方）が相談出来るようになりました。

例えば、もうすぐ40歳になる息子が引きこもっていて、仕事をしたいがどうしたらいいだろうか。3か月後には失業保険が出るが、それまで暮らすお金がない。会社で辛いことがあって、出勤できなくなってしまう…等。

働きたくても、書類代等制度申請や就職活動にもお金がかかります。その中で、東金市の農家さん・酪農家さんに声をかけ、日払いで簡単なお仕事をいただき、働ける人に紹介しています。ご理解ご協力頂いている農家さん、酪農家さんには本当にお世話になっております。皆さんが温かく迎えて下さることで、働

く方の心ばかりではなく、私たちの心も満たされています。

暮らしや仕事のことでお困りの方はご連絡ください！

- ◆営業日・時間
月曜日～土曜日 9:00～18:00
- ◆相談電話
0475(50)4251
- ◆メールアドレス
cocoron@ninus.ocn.ne.jp
- ◆所在地
東金市東上宿3-15



ヨガサロン

健康管理、仲間づくりにヨガを始めませんか？

旧道の岸本薬局の斜め向かいにある「ありさ」の2階で開催中。

開催日 12月7日(水)

12月21日(水)

※興味のある方はご連絡

ください。

ありさ(50・0362)

子育てサロン

日頃の子育てについての困りごとや、情報交換など保護者同士で話をしたり、学んだりする場です。

開催日 12月12日(月)

10時30分～12時

会場 鶴嶺の家(児童)

東金市東金425-2

※参加ご希望の方は12電話に

てご連絡下さい。

(50・1081)

ときがね・街かど福祉塾

「ときがね・街かど福祉塾」は、東金・山武地域の市民や福祉・介護・子育て・まちづくり関係など、人に関わる活動や仕事をしている人たちの学習の場、思いの共有の場、新たな縁(えにし)の場づくりとして実施しています。

東日本大震災以降中断していたものを、昨年10月より、月1回ペースで実施しています。ぜひ、ご参加ください。

《第16回》

「生活困窮者支援におけるボランティアアコーディネットの必要性について(仮題)」

日時 平成28年12月13日(火)

18時30分～20時30分

会場 東金市中央公民館

講師 大戸 優子

(いちほら生活相談サポート

センター センター長)

問い合わせ先

(53・3630)

スタッフ募集

子どもや障がい者、お年寄り等、人に関わる活動に興味のある方、一緒に働きませんか？

日数・時間・曜日・内容(介護・保育・支援・食事づくり・清掃など)・年齢等ご相談に乗りません。

※興味のある方は、ぜひ当法人にご連絡ください。

(53・3630)

ボランティア募集

趣味や特技、仕事を通じて身につけたスキル、体力等、自分らしさを生かしたボランティア活動をやってみませんか？

ボランティア活動を通じて得られる効果は無限大です。

子どもや障がい者、お年寄り等、人に関わる活動に興味のある方は、ぜひ当法人にご連絡ください。

(53・3630)

編集者のつぶやき

通信の発行も3年目に入り、少しずつ慣れてきました。今後さらに、よい実践とその発信を行ってまいりますので、何卒よろしくお願いたします。(jerry)

今月号から、ちばしゃ通信が新しくなりました！以前の広報誌では少なかった写真等も載せていく予定でいます。各事業所の日々の出来事やほのぼのとした日常など、少しでもわかりやすく、たくさんお伝えできればいいと思います。25号からもお付き合い下さい！(W)



ちばしゃ通信 (Vol. 25)

発行日：2016年11月19日
発行元：ちば地域生活支援舎
編集責任者：宮下・太齋
連絡先：0475-53-3630